

作成日 2025 年 02 月 06 日
(最終更新日 年 月 日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 2025-1-064

課題名 : 心的外傷後ストレス障害および心的外傷後ストレス反応の発症要因解明と個別化医療技術の開発

1. 研究の対象

東北メディカル・メガバンク計画（倫理審査受付番号 2014-4-015）の地域住民コホート（倫理審査受付番号 2016-4-017）、および、三世代コホート（倫理審査受付番号 2016-4-013）に登録している対象者の中から、東日本大震災発災時に 18 歳以上であった対象者について集積されている、(1) 健康状態や生活習慣、東日本大震災での被災体験、居住情報を含むコホート情報、(2) 生体情報、(3) MRI 画像情報、(4) ゲノム情報を対象に分析を行う。

2. 研究期間

2025 年 04 月（研究実施許可後）～2030 年 03 月 31 日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日 : 2025 年 04 月 18 日（研究実施許可後）

提供開始予定日 : 提供しない

4. 研究目的

PTSD および PTSR の発症および重症化の要因を解明し、それに基づいた個別化医療技術の開発を目的とする。本研究では、東北メディカル・メガバンク計画の地域住民コホートおよび三世代コホートに基づき、対象者の東日本大震災への曝露の在り方やそこから時間経過、曝露前後の心理社会的要因、身体的要因に関する情報や、脳画像情報、生理検査情報、生体試料情報、ゲノム情報等を統合的に解析する。主要評価項目として、PTSD および PTSR の発症率、症状の重症度、予後に影響を与える各因子の因果関係を探索し、これにより疾患の発症メカニズムの理解を深める。さらに、これらの要因を基に、個々の患者に応じたリスク予測や予後の評価を行うアルゴリズムの策定を目指し、早期診断および予防介入に向けた技術開発を行う。また、MRI データによる脳画像解析を通じて、脳構造変化が PTSD および PTSR の進展に及ぼす影響を評価し、神経学的な病態理解と治療法の最適化につなげることを目的とする。

5. 研究方法

本研究は、東北メディカル・メガバンク計画に基づく地域住民コホート（約 8 万人）および三世代コホート（約 7 万人、うち成人約 4 万 5 千人）を対象としたコホート研究から得られ、同計画のスーパーコンピュータに蓄積されたデータに基づいて、PTSD および PTSR を来しているか否かという表現型と相関する心理社会的要因、身体的要因に関する情報や、脳画像情報、生理検査情報、生体試料情報、ゲノム情報を研究期間内に下記の方法で特定する。

ケースコントロール研究：PTSD および PTSR の診断、もしくは評価を受けたケース群と対照群を 1 対 1 でマッチングし、対照群との比較を行うケースコントロール研究も実施する。ケース群と対照群は、年齢、性別、生活習慣、既往歴などの条件を考慮してマッチングし、心理社会的要因、身体的要因に関する情報や、脳画像情報、生理検査情報、生体試料情報、ゲノム情報といった主要評価項目について詳細な比較を行う。これにより、PTSD および PTSR の発症に関連する特異的な因子の特定を目指す。

探索的および検証的：PTSD および PTSR の発症に関与するゲノム多型や生体指標を特定するために、全ゲノム相関解析や、網羅的相関解析を行う。また、機械学習や深層学習を駆使して、PTSD や PTSR の表現型を来す要因や生体指標を特定する。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

東北メディカル・メガバンク機構のスーパーコンピュータに蓄積された PTSD および PTSR を来しているか否かという表現型情報、心理社会的要因、身体的要因に関する情報や、脳画像情報、生理検査情報、生体試料情報、ゲノム情報

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

東北大学 大学院医学系研究科 精神神経学分野 富田 博秋

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

本研究に使用する運営費交付金は、精神神経学分野を所管とするものであり、企業等との利益相反関係はありません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：大学院医学系研究科 精神神経学分野 富田 博秋

住所：宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1

連絡先：022-717-7262

hiroaki.tomita.a8@tohoku.ac.jp

Eメールでのお問い合わせの際はタイトルを【心的外傷後ストレス障害および心的外傷後ストレス反応の発症要因解明と個別化医療技術の開発】とご記入しお送りください。

当院の研究責任者：大学院医学系研究科 精神神経学分野 富田 博秋

研究代表者：大学院医学系研究科 精神神経学分野 富田 博秋

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報で

す。

1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

2) 1) 以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

- ① 研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ② 研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③ 法令に違反することとなる場合